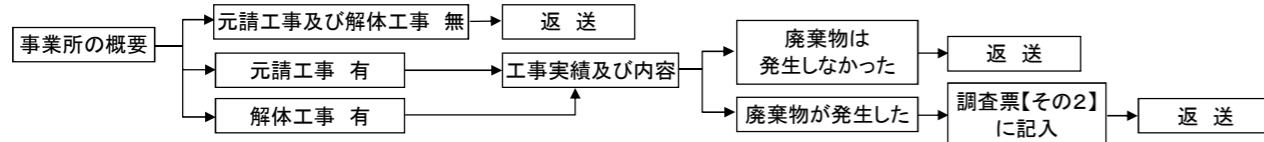




形式D (建設業)

産業廃棄物処理実態調査票
(平成30年度実績)【その1】

- 本調査の対象期間は平成30年度(平成30年4月1日~平成31年3月31日)の1年間に広島市内で施工した全ての元請工事(出来高工事含む)を対象とします。
- 調査票は本票(【その1】、裏面【その2】)と別紙(【その3】意識調査票)があります。
なお、産業廃棄物(有償で取引された副産物も含める)が調査の対象期間中に何も発生しなかった場合は、本調査票【その1】の「事業所の概要」及び「工事実績及び内容」欄をご回答の上、ご返送ください。
意識調査票については、産業廃棄物発生の有無に関係なく必ずご返送ください。
- 共同企業体(J.V)による工事については、分担施工方式では各社持ち分の元請工事高と発生廃棄物を記入し、共同施工方式では貴社が代表会社の場合のみ、元請完成工事高と発生廃棄物を一括記入してください。
- 本調査票については、下記の提出フローに従い記入し、返送してください。



5. 本調査票の作成時には、別紙「調査票の記入要領・記入例」を参考にしてください。

事業所の概要	事業所名				元請工事の有無等	該当する番号に○をつけてください。	
	所在地	〒				1. 広島市内元請工事	有
	フリガナ					2. 広島市内元請工事	無
	代表者氏名					3. 広島市内解体請工事	有
	フリガナ				4. 広島市内解体請工事	無	
	フリガナ				処理業の許可	許可を受けている場合は、該当する事業内容を○で囲んでください。	
代表者氏名	記入者(部課、氏名)					1. 産廃収集運搬業	
記入日	令和 年 月 日	電話番号	- -			2. 産廃処分業(中間処理)	
						3. 産廃処分業(最終処分)	

工事実績及び内容	【広島市】														
	元請完成工事高(消費税含む)							解体工事請負金額(消費税含む)							
	広島市内における年間の元請け完成工事高(出来高工事含む)を記入してください。														
	広島市内における年間の解体工事の請負金額を記入してください。														
	千億	百億	十億	億	千万	百万	十万	万	千億	百億	十億	億	千万	百万	十万
							万円/年								万円/年
【平成30年7月豪雨災害関連工事の実施割合】															
上記工事高・請負金額のうち平成30年7月豪雨災害関連工事の実施割合											%程度				

発生の有無	平成30年度の1年間に廃棄物は発生しましたか。該当する番号に○をつけてください。	調査票【その2】に各工事現場から発生した廃棄物の状況について、記入してください。
	1. 発生した。	上記事業所の概要、工事実績及び内容を記入の後、別紙(【その3】意識調査票)を回答の上、本調査票と併せてご返送ください。
2. 発生しなかった。		

産業廃棄物処理実態調査票（平成30年度実績）【その2】

●別紙、「調査票の記入要領・記入例」、「廃棄物分類表」を参考に記入してください。
●広島市内での工事現場等で発生した廃棄物、有償物・副産物などが対象となります。再生利用、売却をしている場合も記入してください。

①事業所で発生した廃棄物の名称
貴事業所で日常使用している名称で記入してください。
②廃棄物の分類番号
別紙、「廃棄物分類表」をみて該当する4ケタの番号を記入してください。
③年間の発生量（中間処理する前の量）
各行ごとに1年間の発生廃棄物量を、焼却や脱水などの中間処理をする前の量で記入して下さい。なお、単位はt(トン)、又はm3のどちらかを選び、○で囲んでください。

④自社での中間処理方法
自社で中間処理された場合は、該当する処理方法の記号を下欄の「④中間処理方法コード表」から選んで、中間処理の過程順に記入してください。
⑤中間処理後の量
中間処理後の残さを記入して下さい。なお、単位はt(トン)、又はm3のどちらかを選び、○で囲んでください。

⑥処理・処分方法
発生（自社で中間処理した場合は、中間処理後の廃棄物）した廃棄物の処理・処分方法を下欄の「⑥処理・処分方法コード表」から選んで、その記号を記入してください。
⑦処理・処分先又は再生利用先の名称
⑥の処理を行った業者（委託業者）の名称を記入してください。自ら処理した場合は「自社」と記入してください。
⑧処理・処分先又は再生利用先の所在地
⑥の処理を行った業者・処理施設のある所在地を記入してください。
⑨処理・処分先又は再生利用先の所在地番号
⑧所在地が記入されている場合は、⑨所在地番号を記入する必要はありません。

⑩委託中間処理の方法
⑥の「処理・処分方法」で「U1」と回答された場合（中間処理を委託）は、委託先で中間処理された内容に該当する処理方法の記号を下欄の「⑩委託中間処理方法コード表」から選んで、中間処理の過程順に記入してください。
⑪委託中間処理後の再生利用・処分の方法
委託先で中間処理された後の廃棄物等の処理方法を下の1～3から選んで、その番号を○で囲んでください。
1. 再生利用・リサイクルした。
2. 埋立処分した。
3. 海洋投入処分した。

⑫資源化用途
⑥の「処理・処分方法」で「V1, V2, W1, X1, R6」又は⑥で「U1」とし、前問⑪で「1」と回答された場合、下欄の「⑫資源化用途コード表」から該当する番号を記入してください。

⑬最終処分（再生を含む）の場所
委託中間処理後の産業廃棄物（処理残さを含む）を最終的に再生利用（売却含む）又は埋立処分した場所を記入してください。
⑭再生利用先又は処分業者
委託中間処理後の産業廃棄物（処理残さを含む）を最終的に再生利用（売却含む）又は埋立処分した業者の名称を記入してください。

Main data entry table with columns for waste type, quantity, processing method, location, and disposal status.

④中間処理方法コード表
A: 焼却, B: 脱水, C: 天日乾燥, D: 機械乾燥, E: 油水分離, F: 中和, G: 破碎, H: 分級, I: 圧縮, J: 溶融, K: 切断, L: 焼成, M: 堆肥化, N: 銀回収, O: コクリト固化, P: 乾熱滅菌, Q: 煮沸, R: オトループ, S: 薬物消毒, V: 濃縮, W: 油化, X: 造粒固化・混練固化, Z: その他

⑥処理・処分方法コード表
自己処理: Q1, V1, W1, Z1
市町村へ委託処理: R1, R5, R6
産業廃棄物処理業者等へ委託処理: S1, S2, T1, U1, X1
その他: Z9

⑨処理・処分先、又は再生利用先の地域コード表
広島市内の場合: 01-11
広島県外の場合: 21-69

⑩委託中間処理方法コード表
A: 焼却, B: 脱水, C: 天日乾燥, D: 機械乾燥, E: 油水分離, F: 中和, G: 破碎, H: 分級, I: 圧縮, J: 溶融, K: 切断, L: 焼成(炉外原料), M: 堆肥化(発酵), N: 銀回収, O: コクリト固化, P: 乾熱滅菌, R: オトループ, S: 薬物消毒, T: 金属(鉄)回収, U: 非鉄金属回収, V: 濃縮, W: 油化, X: 造粒固化・混練固化, Y: 解体, Z: その他

⑫資源化用途コード表
10: 鉄鋼原料, 20: 非鉄金属等原材料, 30: 燃料, 31: 木炭・炭化物, 41: 飼料, 42: 肥料, 43: 土壌改良材, 50: 土木・建設資材, 51: 再生木材・合板, 52: 再生骨材・再生路盤材, 60: バルブ・紙原材料, 70: ガラス原材料, 80: プラスチック原材料, 81: 再生タイヤ, 90: セメント原材料, 91: 再生油・再生溶剤, 92: 中和剤, 93: 高炉還元, 98: その他

注) 10行を超えて記入欄が必要な場合は、あらかじめ用紙をコピーするか、株式会社グリーンエコ（調査機関）まで追加用紙をご請求ください。